

# 武蔵野大学×長野県信濃町 動画でつなぐプロジェクト

プログラム概要 : 信濃町の方々と協力してPR動画を作る  
 実習先 : zoom会議(長野県信濃町)  
 実習先情報 : 面積149.3 km<sup>2</sup>人口8339 (2019年3月) 長野県北部の町、野尻湖や黒姫高原で知られ、新潟県に接する  
 参加人数 : 5名  
 学部学科 : 数理工学科、グローバルビジネス学科、データサイエンス学科、経営学科、経営学科  
 実習期間 : 令和3年8月30日～9月6日  
 本学担当教員 : 内藤文隆

以下の項目を参考に、写真なども含めて2ページ以内でまとめてください。

## ○はじめに

私たちは自然とその地域との関わりについて興味を持ち、信濃町と東京の両方の風景をPR動画として形にしました。コロナ禍ZOOM会議で集まった動画編集未経験の大学生5人組と長野の方々で協力して身近な素材を集め、見事完成したこの動画はきっと田舎と都会を身近に感じさせるでしょう。

## ○実習内容

### 信濃町のPR動画を作る

#### ・PR動画のコンセプトを決める

テーマやターゲットにする人たち、動画の目的を考えた。コンセプトは都会と田舎の魅力を音で表す映像を作る。ターゲットは10, 20代の若者。テーマは都会と田舎を旅行先の選択肢に入れてもらうこと



↑ストーリーボード

#### ・使う曲、映像で写すもの等の映像の概要を決める

使う曲はOne Directionの「What makes you beautiful」みんな知っている曲で都会と田舎のスピード感の変化が表せる。都会と田舎で録音した音をもとに曲を作成。都会と田舎で写すものをストーリーボードにまとめた



#### ・映像と音楽を作る

映像班(葛西、川田、窪井) 音楽班(荒井、兼光)に分かれて実際に映像を作り始める(4日目～)音楽班は生活音や環境音をフリー素材や信濃の方々から収集しそれを加工して音楽を作った。



#### ・映像と音楽を合わせる

実際に作った映像と音楽をくっつけてPR動画を完成させる。完成した作品をみんなで鑑賞し、分かりにくいところや、違和感を感じた部分を意見を出し合い修正していく。良いものが出来てるのに、意見が出るとどんどん改善点が出る。ここまできて妥協はしたくないので、その気である限りは無限に改善したくなる。本気だからこそ精神的に一番つらい...

### ○提案したこと、発信したこと、など

PR映像を作るにあたり、広告について知るべくみんなでCMを調べ、伝え方を考えた。

みんなで数曲案を出し合い曲を決めた

コンセプトを決め、伝えたい相手、事柄をテーマ、ターゲットとして具体的に考えイメージを固め、歌詞と音源を比べながら何を映すかのイメージを話し合い、ストーリーボードを作った。

映像を作りに必要な音、写真、動画をネット上や、過去に撮ったものから探し、共有した。



↑完成した動画に出てくる苗名滝

### ○経験したこと、学んだこと、など

動画を作る過程で必要な話し合いや、コンセプト、テーマなど決めておかなければならないこと、それらの話し合いの手順を実際にミーティングで学ぶことが出来た。

動画が完成した後の修正点の話し合いからの発展のすごさに驚いた。少し短くなると聞いたときは今日中に出来るか不安になったが、完成度が段違いになっていて心が躍った

### ○今後の展開、今後の学び、

まだほんとは基礎の基礎であるが動画、音楽などの作り方を知り、普段眺めている広告のすごさがわかった。自分は日常の音への関心が高まり音声の加工に興味が出てきた。

動画を作る過程の準備、制作の順序をよく理解できた。これは映像制作の時だけでなく、将来的にプレゼンをするときや、面接の自己PRを考えるときにも役立てていきたい。

### ○まとめ

私はこの8日間で短いながらも動画づくりを通して在宅でも楽しみながら多くのことに関心を持てた。

ものを伝えるときはまず準備としてコンセプトやテーマを考え、相手の事や自分のイメージを具体的にすることなど将来のための学習や、日々の生活で聞いている音、景色への興味、実際に信濃町へとても行ってみたいとも思った。



### ○実習先コメント

メンバー全員が動画作成未経験者だったにもかかわらず、8日間という短期間で、企画から編集までを行えたということは、とても凄いことです。

オンラインによるミーティングで難しい部分はあったかと思いますが、メンバー全員で様々な意見を出し合い、イメージを共有しながら作業を進めていました。

今回のプログラムでは、地方の良さや課題などを知ってもらうことに加え、自分が持つ考えを相手に伝えることの難しさ、コミュニケーションの重要性を体験してもらうことに重点を置きました。

このプログラムで体験したことを今後の学生生活や私生活でも活かしてもらいたいと思います。